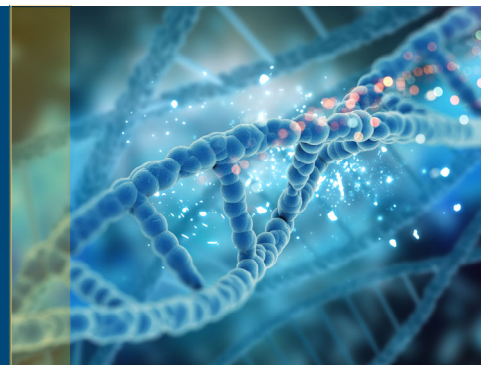


## アジレント・テクノロジー ランチョンセミナー



日時 2026 年 2 月 6 日 (金) 17:40 ~ 18:30

場所 第 2 会場 ウェスティン都ホテル京都 4F 瑞穂の間 (東)

司会 アジレント・テクノロジー株式会社 シニアアプリケーションサイエンティスト 吉崎 史子

講演  
1

### 膵癌の早期診断を目指す分子バーコードを用いた リキッドバイオプシーの取り組み

札幌東徳洲会病院 医学研究所 ゲノム診断研究部

小野 裕介 先生

札幌東徳洲会病院医学研究所は、民間病院付属の研究機関として、医療現場からの研究発信と先進医療の実用化を目標に掲げている。我々の研究グループは膵癌などの難治がんに対するリキッドバイオプシーを用いた早期診断法の開発を主要テーマの一つとしており、2014 年より多施設共同研究を段階的に実施してきた。血漿中の遊離 DNA を用いた遺伝子変異の検出から、より高頻度の変異検出を目的とし十二指腸液および膵液にターゲットを拡大し、これまでに述べ数百例からなる膵癌、嚢胞性腫瘍患者由来の液体検体の蓄積を進めた。消化液からの核酸抽出法の検討を行い、カスタムデザインによる膵癌関連遺伝子を網羅する分子バーコードパネルを用いたターゲットシーケンス解析と切除組織との比較から膵消化液が病変組織由来の変異を高感度で検出したことを示し、その精度の高い変異検出と臨床的有用性から早期診断の実装化に向けた基盤を構築してきた。本発表では、これまでの研究成果を紹介するとともに、現在進行中の臨床研究において Avida パネルや、新たに設計した *KRAS*、*TP53*、*CDKN2A*、*SMAD4* の膵癌進展に重要な 4 遺伝子を含む全 16 遺伝子を対象としたデュプレックス UMI ベースの膵癌遺伝子パネルを用いて、膵液・十二指腸液に関する分子バーコード解析を行った結果を報告する。

講演  
2

### リキッドバイオプシー研究のための最新ソリューションのご紹介

アジレント・テクノロジー株式会社 フィールドアプリケーションサイエンティスト

齋藤 るみ子

● 本イブニングセミナーは整理券制ではございません。

共催：第 10 回 Liquid Biopsy 研究会／アジレント・テクノロジー株式会社